

## 物語コーポレーション (3097)

単体通期		売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY06/2010		12,781	982	1,001	506	136.8	16.7	632.4
FY06/2011		15,745	1,195	1,230	530	124.2	21.0	816.8
FY06/2012会予		18,847	1,478	1,500	763	154.5	22.0	-
FY06/2011	前年比	23.1%	21.6%	22.8%	4.6%	-	-	-
FY06/2012会予	前年比	19.7%	23.7%	21.8%	43.9%	-	-	-
単体半期		売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q-2Q FY06/2011		7,732	714	732	340	-	-	-
3Q-4Q FY06/2011		8,013	481	498	190	-	-	-
1Q-2Q FY06/2012		8,836	850	875	473	-	-	-
3Q-4Q FY06/2012会予		10,011	628	625	290	-	-	-
1Q-2Q FY06/2012	前年比	14.2%	19.1%	19.5%	39.2%	-	-	-
3Q-4Q FY06/2012会予	前年比	24.9%	30.6%	25.5%	52.6%	-	-	-
単体四半期		売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q FY06/2011		3,824	334	341	125	-	-	-
2Q FY06/2011		3,908	380	391	215	-	-	-
3Q FY06/2011		4,001	331	343	179	-	-	-
4Q FY06/2011		4,012	150	155	11	-	-	-
1Q FY06/2012		4,396	418	429	272	-	-	-
2Q FY06/2012		4,440	432	446	201	-	-	-
1Q FY06/2012	前年比	14.9%	25.4%	25.8%	117.1%	-	-	-
2Q FY06/2012	前年比	13.6%	13.7%	14.1%	(6.5%)	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

### 1.0 エグゼクティブサマリー (2012年3月7日)

#### 拡大する新店舗効果

焼肉・ラーメン・お好み焼のロードサイド・チェーンレストランを全国規模で展開する物語コーポレーションの業績が好調に推移している。2012年6月期に向けては、売上高188億円(前年比19.7%増)、経常利益15億円(21.8%増)が達成される見通しである。既存店売上高は前年を若干下回る水準での推移となっているものの、新店舗展開による増収・増益が大きく寄与する。2012年6月期第2四半期累計実績における既存店売上高は、前年比3.1%減、直営店ベースでは0.9%減で着地している。


同社の総店舗数は2011年6月期末から2012年6月期第2四半期末にかけて213店から230店へと17店純増している(新規出店24店、退店7店)。ここでの店舗数純増による影響を含めた2012年6月期第2四半期累計実績における同社の売上高は88億円(前年比14.2%増)とほぼ想定通りの推移を示している。同社の事業の中核を形成している「焼肉きんぐ」等のブランドで展開されている焼肉部門では、売上高50億円(前年比21.2%増、売上高構成比57%)が達成されている。食中毒ユッケ事件、セシウム汚染稲わら給餌牛に係る風評被害等もあったものの、ここでは既存店売上高が前年比ではほぼ維持されている。同社が開発した「お席で注文 食べ放題」を標榜する焼肉食べ放題の新業態が消費者ニーズを掴んでいる模様である。

直近過去6期連続で増収・増益を達成している同社は、中長期的にも増収・増益を継続することを計画している。

同社の中期経営計画においては、2014年6月期に対して売上高250億円、経常利益21億円、総店舗数369店が見込まれている。2011年6月期実績は、それぞれ157億円、12億円、213店である。同社は、郊外ロードサイドの地域一番立地に継続的に新規出店していく一方、新業態の開発や海外市場の開拓も進捗させ、中長期的な売上高成長並びに利益率の維持・漸増を目指している。

## 2.0 会社概要

### 愛知県地盤に焼肉等をロードサイドで展開

商号	株式会社物語コーポレーション Web サイト ( <a href="#">日本語</a> 、英語) I R 情報 ( <a href="#">日本語</a> 、英語) 株価情報 ( <a href="#">日本語</a> 、 <a href="#">英語</a> )	 Storyteller tells the Story 株式会社 物語コーポレーション
設立年月日	1969年9月4日	
上場年月日	2011年6月27日 (東京証券取引所1部:証券コード3097)	
資本金	1,187百万円 (2011年12月末)	
発行済株式数	4,952,282株、自己株式数内数748株 (2011年12月末)	
特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 愛知県地盤に焼肉、ラーメン、お好み焼をロードサイドで展開</li> <li>● 新業態を開発して、積極出店</li> <li>● 食べ・飲み放題がウリ</li> </ul>	
事業内容	I. 焼肉部門 II. ラーメン部門 III. お好み焼部門 IV. 専門店部門 V. フランチャイズ	
代表者	代表取締役会長：小林佳雄、代表取締役社長：加治幸夫	
主要株主	小林佳雄 15.0%、小林雄祐 11.9% (2011年6月末)	
本社	愛知県豊橋市	
従業員数	単体 431名 (2011年12月末)	

出所：会社データ

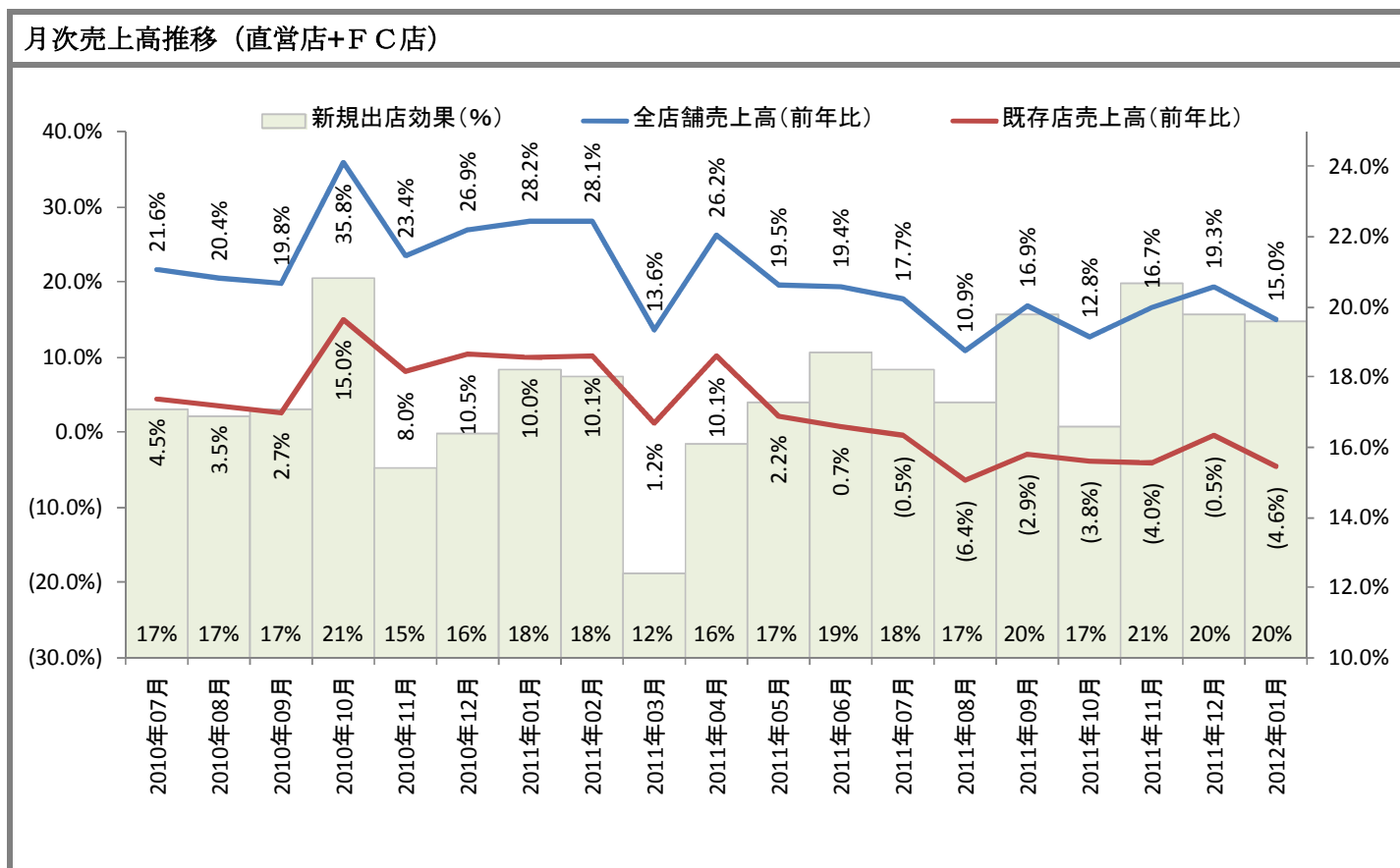
## 3.0 業績推移

### 2012年6月期第2四半期累計実績

2012年6月期第2四半期累計実績は、売上高88億円 (前年比14.2%増)、営業利益9億円 (19.1%増)、経常利益9億円 (19.5%増)、当期純利益5億円 (39.2%増) での着地となった。当初の会社予想との比較では、売上高で1.1%の未達、営業利益で33.6%の上振れである。

売上高が未達となったのは、東日本大震災とそれに伴う原子力発電所のトラブル等の影響から、電力不足や産業界の休日変更からくる消費動向への影響、またセシウム汚染稲わら給餌牛による焼肉業界への不信感など消費自粛の影響を受けたためである。また、営業利益の上振れに関しては、当初想定していたほどの原材料 (食材) やエネルギー関連費用の高騰が起らなかったこと、また第2四半期末までに想定されていた新規出店のうち3店が第3四半期以降にずれ込むこととなったため、これに係る開業費用の発生も第3四半期以降にずれ込んだこと

が大きく影響を及ぼしている。



出所：会社データ、弊社計算

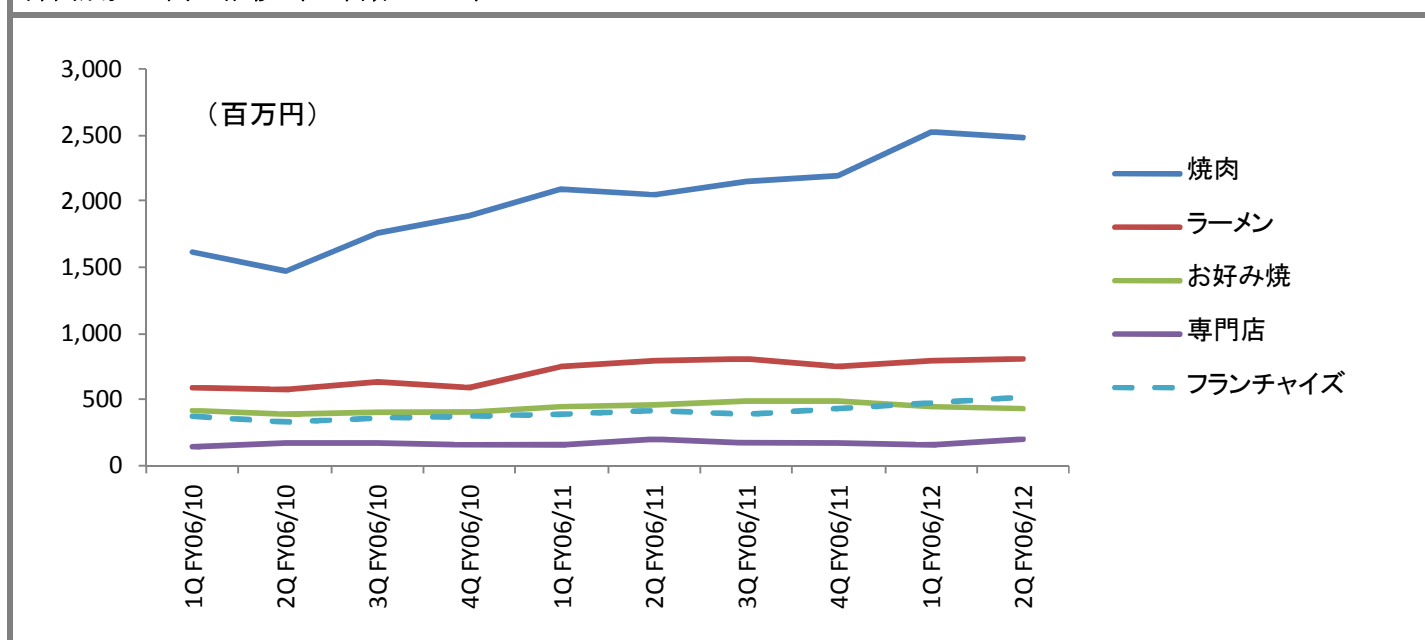
既存店売上高は2011年7月より前年比で減少を続けている。第2四半期累計実績における既存店売上高は、前年比3.1%減での着地となった。直営店ベースでは前年比0.9%減である。直営店は比較的健闘している一方、F C店ではより市場環境の厳しさの影響を受けている模様である。また、同社の主力事業である焼肉部門での既存店売上高（直営店ベース）は、ほぼ前年の水準が維持されている。

一方、新規出店24店、退店7で店舗数の純増が17店となり（2012年6月期第2四半期総店舗数230店）、ここからの新規出店効果が同社の売上高を大きく引き上げている。「新規出店効果」を全店舗売上高と既存店売上高の前年比伸び率の格差と定義すれば、足下の動向は20%ポイント前後での推移となっており、2011年6月期実績における推移との比較では時系列的な拡大が認められる。

また、経常利益前年比増益率19.5%増に対して当期純利益39.2%増と、当期純利益の増加が大きくなっている主因は、特別損益が前年比で121万円改善して12百万円のプラスで着地していることに求められる。前年計上された資産除去債務会計による40百万円の損失が一巡している一方、F Cオーナーへの店舗売却益58百万円が計上されたことが大きく影響している。

2012年6月期第2四半期末時点では、総資産100億円、純資産45億円、自己資本比率44.7%と、同社は財務的な安定性を増している。同社の決算短信の数値に基づく弊社の分析においては、2011年6月期第2四半期末ではネットデット8億円であったのに対して2012年6月期第2四半期末ではネットキャッシュ8億円へと16億円に及ぶネットキャッシュポジションの改善が達成されており、自己資本比率では34.6%から44.7%への向上が認められる。

### 部門別売上高の推移（四半期ベース）



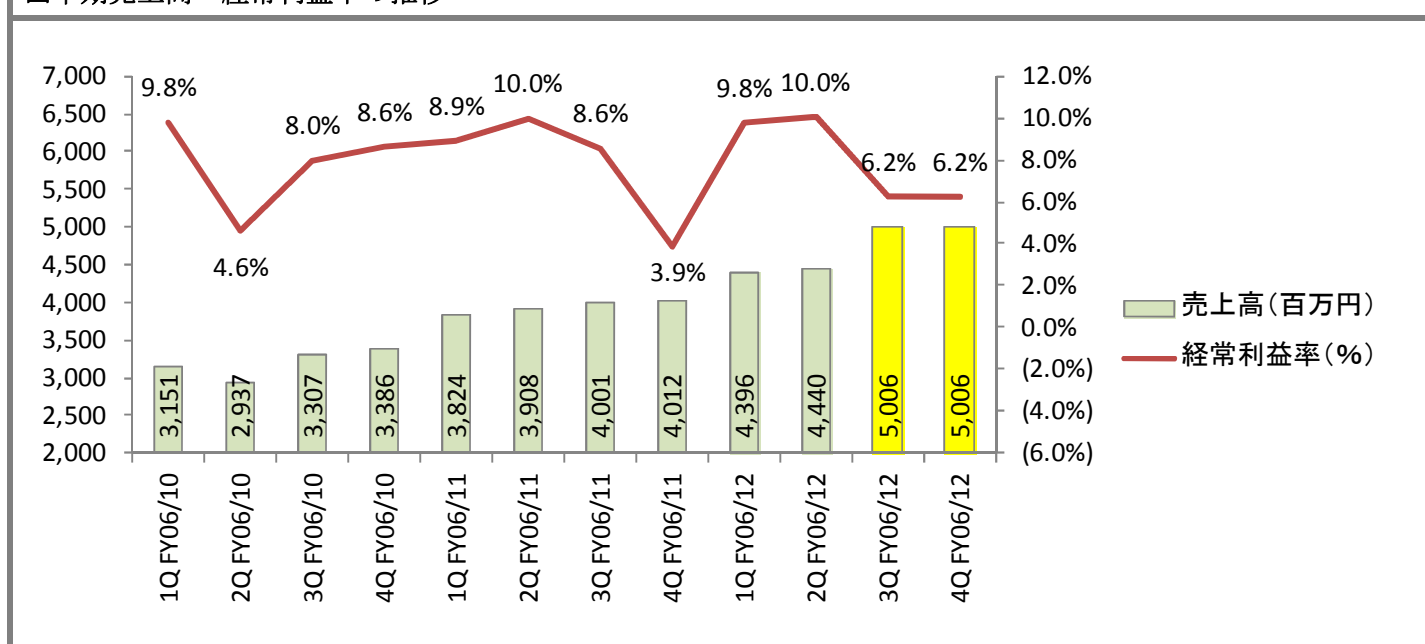
出所：会社データ、弊社計算

### 2012年6月期会社予想

2012年6月期会社予想においては、売上高188億円（前年比19.7%増）、営業利益15億円（23.7%増）、経常利益15億円（22.0%増）、当期純利益8億円（43.9%増）が見込まれている。第2四半期累計実績は、利益面で当初の会社予想の想定を上回る着地となったものの、ここでは一部の新規出店に係る費用計上が第3四半期以降にずれ込んだ影響もあるため、当初の通期会社予想は据え置かれている。同社は、通期会社予想に対するマイナス材料として、新規出店計画と実績との差異による新規出店店舗の稼働月数が想定を下回ることを挙げているが、原材料（食材）価格等が想定を下回って推移しており、これが売上原価率を想定以下の水準で推移させていることに鑑み、通期会社予想は利益面では想定通りの着地となることを見込んでいる。

4

### 四半期売上高・経常利益率の推移



出所：会社データ、弊社計算（2012年6月期下半期の四半期数値は会社予想を単純に按分して算出）

四半期ベースでの業績推移においては、2011年6月期第4四半期の損益が一時的に大きく悪化していることが注目される。これは、新店舗展開や既存店舗の修繕等に係る費用計上が集中したことによるところが大きく、これらを除いた場合、2011年6月期第3四半期実績水準の経常利益率がほぼ維持されているとのことである。現実にも、第4四半期実績の売上総利益率は69.6%で着地しており、第1四半期、第2四半期、第3四半期との比較でほぼ同水準で推移している。第4四半期においては、販売管理費に計上された一時的な費用によって経常利益率が一時的に悪化したのである。また、ここでの修繕等に係る費用が翌年度にあたる2012年6月期の収益性向上に寄与しており、修繕の対象となった焼肉部門やお好み焼部門の店舗における収益性の向上が認められるとのことである。

会社予想の前提においては、直営店の既存店売上高は前年比0.2%増で着地することが想定されている。これに対して第2四半期累計実績は0.9%減での着地となり、直近の動向としては想定値に対してやや未達の推移となっている模様である。また、2012年6月末の総店舗数に対しては256店舗（新規出店48店、退店5店、純増43店）が想定されているが、前述の通り新規出店のタイミングがやや遅延する傾向にあり、新規出店店舗の稼働月数が想定を下回り、それに伴い売上高計上も遅延される懸念がある。

また、特別損益段階においては費用計上の一巡効果が見込まれている。積極的な既存店舗に係る業態変更等によって、2011年6月期の特別損益は従来以上に大きい151百万円のマイナスで着地した一方、2012年6月期に対しては、これが60百万円のマイナスに留まることが想定されている。

同社は、2012年6月期に対して一株当たり22.0円（配当性向：14.2%）の配当を実施することを計画している。2011年6月期実績21.0円（16.9%）と比較すれば増配となるものの、配当性向は低下することになる。配当性向に限っていえば、同社が認めている通り十分高い水準ではないものの、同社のビジネスモデルに鑑みた場合、同社の配当水準は、ほぼ適正であるとも考えられる。現在の同社は、ROEが20%近いビジネスモデルに対して積極的な投資を行っている状況にある。これに鑑みれば、より多くの資金を配当の支払いとして社外流出させるよりも、当該資金を自社による投資に充ててリターンを得ることが、最終的には株主の利益をより追求することになる可能性が高い。

2012年6月期会社予想の修正履歴と実績

(百万円)						
FY06/2012会予	2011年8月11日	4Q決算発表	18,847	1,478	1,500	763
FY06/2012会予	2011年11月7日	1Q決算発表	18,847	1,478	1,500	763
FY06/2012会予	2012年2月10日	2Q決算発表	18,847	1,478	1,500	763
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
単体半期	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
(百万円)						
1Q-2Q FY06/2012会予	2011年8月11日	4Q決算発表	8,935	636	650	323
1Q-2Q FY06/2012会予	2011年11月7日	1Q決算発表	8,935	636	650	323
1Q-2Q FY06/2012実績	2012年2月10日	2Q決算発表	8,836	850	876	473
		増減額	(99)	214	226	150
		増減率	(1.1%)	33.6%	34.8%	46.4%
単体半期	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
(百万円)						
3Q-4Q FY06/2012会予	2011年8月11日	4Q決算発表	9,912	842	850	440
3Q-4Q FY06/2012会予	2011年11月7日	1Q決算発表	9,912	842	850	440
3Q-4Q FY06/2012会予	2012年2月10日	2Q決算発表	10,011	628	624	290
		増減額	99	(214)	(226)	(150)
		増減率	1.0%	(25.4%)	(26.6%)	(34.1%)

出所：会社データ、弊社計算

事業部門別売上高（四半期累計、四半期）

事業部門別売上高 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減
	1Q 11年6月期	2Q累計 11年6月期	3Q累計 11年6月期	4Q累計 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q累計 12年6月期	3Q累計 12年6月期	4Q累計 12年6月期	
焼肉	2,096	4,139	6,295	8,481	2,527	5,015	-	-	+876
ラーメン	741	1,529	2,340	3,086	793	1,597	-	-	+68
お好み焼	445	906	1,387	1,879	447	872	-	-	(34)
専門店	155	347	514	682	161	365	-	-	+18
フランチャイズ	385	807	1,194	1,617	466	983	-	-	+176
<b>売上高</b>	<b>3,824</b>	<b>7,732</b>	<b>11,733</b>	<b>15,745</b>	<b>4,396</b>	<b>8,836</b>	-	-	<b>+1,104</b>
焼肉	55%	54%	54%	54%	57%	57%	-	-	-
ラーメン	19%	20%	20%	20%	18%	18%	-	-	-
お好み焼	12%	12%	12%	12%	10%	10%	-	-	-
専門店	4%	4%	4%	4%	4%	4%	-	-	-
フランチャイズ	10%	10%	10%	10%	11%	11%	-	-	-
<b>売上高</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	-	-	-
焼肉	+29.6%	+33.9%	+29.8%	+25.9%	+20.6%	+21.2%	-	-	79%
ラーメン	+25.2%	+31.7%	+31.0%	+30.2%	+7.0%	+4.4%	-	-	6%
お好み焼	+6.0%	+12.7%	+14.7%	+16.9%	+0.4%	(3.8%)	-	-	(3%)
専門店	+6.9%	+8.4%	+5.7%	+7.4%	+3.9%	+5.2%	-	-	2%
フランチャイズ	+2.7%	+14.3%	+12.9%	+13.7%	+21.0%	+21.8%	-	-	16%
<b>売上高</b>	<b>+21.4%</b>	<b>+27.0%</b>	<b>+24.9%</b>	<b>+23.2%</b>	<b>+15.0%</b>	<b>+14.3%</b>	-	-	<b>100%</b>

事業部門別売上高 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減	
	1Q 11年6月期	2Q 11年6月期	3Q 11年6月期	4Q 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q 12年6月期	3Q 12年6月期		4Q 12年6月期
焼肉	2,096	2,043	2,156	2,186	2,527	2,488	-	-	+445
ラーメン	741	788	811	746	793	804	-	-	+16
お好み焼	445	461	481	492	447	425	-	-	(36)
専門店	155	192	167	168	161	204	-	-	+12
フランチャイズ	385	422	387	424	466	517	-	-	+95
<b>売上高</b>	<b>3,824</b>	<b>3,908</b>	<b>4,001</b>	<b>4,012</b>	<b>4,396</b>	<b>4,440</b>	-	-	<b>+532</b>
焼肉	55%	52%	54%	54%	57%	56%	-	-	-
ラーメン	19%	20%	20%	19%	18%	18%	-	-	-
お好み焼	12%	12%	12%	12%	10%	10%	-	-	-
専門店	4%	5%	4%	4%	4%	5%	-	-	-
フランチャイズ	10%	11%	10%	11%	11%	12%	-	-	-
<b>売上高</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	-	-	-
焼肉	+29.6%	+38.5%	+22.8%	+15.8%	+20.6%	+21.8%	-	-	84%
ラーメン	+25.2%	+38.5%	+29.8%	+27.5%	+7.0%	+2.0%	-	-	3%
お好み焼	+6.0%	+20.1%	+18.5%	+23.9%	+0.4%	(7.8%)	-	-	(7%)
専門店	+6.9%	+9.7%	+0.4%	+12.8%	+3.9%	+6.3%	-	-	2%
フランチャイズ	+2.7%	+27.5%	+10.1%	+16.1%	+21.0%	+22.5%	-	-	18%
<b>売上高</b>	<b>+21.4%</b>	<b>+33.1%</b>	<b>+21.0%</b>	<b>+18.5%</b>	<b>+15.0%</b>	<b>+13.6%</b>	-	-	<b>100%</b>

出所：会社データ、弊社計算

## 損益計算書（四半期累計、四半期）

損益計算書 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減
	1Q 11年6月期	2Q累計 11年6月期	3Q累計 11年6月期	4Q累計 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q累計 12年6月期	3Q累計 12年6月期	4Q累計 12年6月期	
<b>売上高</b>	<b>3,824</b>	<b>7,732</b>	<b>11,734</b>	<b>15,745</b>	<b>4,396</b>	<b>8,837</b>	-	-	<b>+1,104</b>
売上原価	1,129	2,321	3,572	4,790	1,326	2,706	-	-	+385
売上総利益	2,695	5,412	8,162	10,955	3,070	6,131	-	-	+719
販売費及び一般管理費	2,361	4,697	7,116	9,760	2,651	5,280	-	-	+583
<b>営業利益</b>	<b>334</b>	<b>714</b>	<b>1,046</b>	<b>1,195</b>	<b>419</b>	<b>851</b>	-	-	<b>+137</b>
営業外損益	7	18	30	36	10	25	-	-	+7
<b>経常利益</b>	<b>341</b>	<b>733</b>	<b>1,076</b>	<b>1,231</b>	<b>429</b>	<b>876</b>	-	-	<b>+144</b>
特別損益	(108)	(109)	(119)	(151)	55	12	-	-	+121
税金等調整前当期純利益	233	623	956	1,080	484	888	-	-	+265
法人税等合計	108	283	437	550	211	414	-	-	+131
<b>当期純利益</b>	<b>126</b>	<b>340</b>	<b>519</b>	<b>530</b>	<b>273</b>	<b>474</b>	-	-	<b>+134</b>
売上高伸び率	+21.4%	+27.0%	+24.9%	+23.2%	+15.0%	+14.3%	-	-	-
営業利益伸び率	+10.0%	+65.3%	+51.7%	+21.6%	+25.4%	+19.1%	-	-	-
経常利益伸び率	+10.1%	+64.4%	+51.5%	+22.8%	+25.8%	+19.6%	-	-	-
当期純利益伸び率	(22.5%)	+55.6%	+46.4%	+4.6%	+117.1%	+39.3%	-	-	-
売上総利益率	70.5%	70.0%	69.6%	69.6%	69.8%	69.4%	-	-	-
売上高販管費率	61.7%	60.7%	60.6%	62.0%	60.3%	59.7%	-	-	-
営業利益率	8.7%	9.2%	8.9%	7.6%	9.5%	9.6%	-	-	-
経常利益率	8.9%	9.5%	9.2%	7.8%	9.8%	9.9%	-	-	-
当期純利益率	3.3%	4.4%	4.4%	3.4%	6.2%	5.4%	-	-	-
法人税等 / 税前利益	46.2%	45.4%	45.7%	50.9%	43.7%	46.7%	-	-	-

損益計算書 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減	
	1Q 11年6月期	2Q 11年6月期	3Q 11年6月期	4Q 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q 12年6月期	3Q 12年6月期		4Q 12年6月期
<b>売上高</b>	<b>3,824</b>	<b>3,908</b>	<b>4,001</b>	<b>4,011</b>	<b>4,396</b>	<b>4,441</b>	-	-	<b>+533</b>
売上原価	1,129	1,192	1,251	1,218	1,326	1,380	-	-	+188
売上総利益	2,695	2,716	2,750	2,793	3,070	3,061	-	-	+345
販売費及び一般管理費	2,361	2,336	2,419	2,644	2,651	2,629	-	-	+293
<b>営業利益</b>	<b>334</b>	<b>380</b>	<b>332</b>	<b>149</b>	<b>419</b>	<b>432</b>	-	-	<b>+52</b>
営業外損益	7	11	11	6	10	15	-	-	+4
<b>経常利益</b>	<b>341</b>	<b>392</b>	<b>343</b>	<b>155</b>	<b>429</b>	<b>447</b>	-	-	<b>+55</b>
特別損益	(108)	(1)	(10)	(32)	55	(43)	-	-	(42)
税金等調整前当期純利益	233	390	333	123	484	404	-	-	+14
法人税等合計	108	176	154	113	211	203	-	-	+27
<b>当期純利益</b>	<b>126</b>	<b>215</b>	<b>179</b>	<b>11</b>	<b>273</b>	<b>201</b>	-	-	<b>(13)</b>
売上高伸び率	+21.4%	+33.0%	+21.0%	+18.5%	+15.0%	+13.6%	-	-	-
営業利益伸び率	+10.0%	+196.0%	+28.8%	(49.1%)	+25.4%	+13.6%	-	-	-
経常利益伸び率	+10.1%	+188.5%	+29.7%	(46.8%)	+25.8%	+14.2%	-	-	-
当期純利益伸び率	(22.5%)	+279.6%	+31.6%	(92.9%)	+117.1%	(6.3%)	-	-	-
売上総利益率	70.5%	69.5%	68.7%	69.6%	69.8%	68.9%	-	-	-
販管費売上高比率	61.7%	59.8%	60.4%	65.9%	60.3%	59.2%	-	-	-
営業利益率	8.7%	9.7%	8.3%	3.7%	9.5%	9.7%	-	-	-
経常利益率	8.9%	10.0%	8.6%	3.9%	9.8%	10.1%	-	-	-
当期純利益率	3.3%	5.5%	4.5%	0.3%	6.2%	4.5%	-	-	-
法人税等 / 税前利益	46.2%	45.0%	46.2%	91.2%	43.7%	50.2%	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算



## キャッシュフロー計算書（四半期累計、四半期）

キャッシュフロー計算書 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減
	1Q 11年6月期	2Q累計 11年6月期	3Q累計 11年6月期	4Q累計 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q累計 12年6月期	3Q累計 12年6月期	4Q累計 12年6月期	
営業活動によるキャッシュフロー	424	1,089	1,366	1,713	-	1,000	-	-	(89)
投資活動によるキャッシュフロー	(204)	(378)	(684)	(1,036)	-	(1,015)	-	-	(636)
<b>営業活動+投資活動によるCF</b>	<b>219</b>	<b>711</b>	<b>682</b>	<b>677</b>	<b>-</b>	<b>(14)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(725)</b>
財務活動によるキャッシュフロー	(134)	(465)	(727)	338	-	(440)	-	-	+25
税引等調整前当期純利益	233	623	956	1,080	-	888	-	-	+265
減価償却費	130	268	415	570	-	317	-	-	+50
運転資本増減	42	113	115	38	-	77	-	-	(36)
法人税等の支払額	(183)	(183)	(407)	(407)	-	(22)	-	-	+161
有形固定資産の取得	(168)	(353)	(621)	(927)	-	(873)	-	-	(520)
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>54</b>	<b>468</b>	<b>459</b>	<b>355</b>	<b>-</b>	<b>388</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(80)</b>

キャッシュフロー計算書 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減
	1Q 11年6月期	2Q 11年6月期	3Q 11年6月期	4Q 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q 12年6月期	3Q 12年6月期	4Q 12年6月期	
営業活動によるキャッシュフロー	424	666	277	347	-	-	-	-	(53)
投資活動によるキャッシュフロー	(204)	(174)	(306)	(352)	-	-	-	-	(166)
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>219</b>	<b>492</b>	<b>(29)</b>	<b>(5)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(220)</b>
財務活動によるキャッシュフロー	(134)	(331)	(262)	1,065	-	-	-	-	+652
税金等調整前当期純利益	233	390	333	123	-	-	-	-	(168)
減価償却費	130	138	148	155	-	-	-	-	+8
運転資本増減	42	70	3	(77)	-	-	-	-	(23)
法人税等の支払額	(183)	(0)	(224)	(0)	-	-	-	-	+0
有形・無形固定資産の取得	(168)	(185)	(268)	(306)	-	-	-	-	(130)
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>54</b>	<b>414</b>	<b>(8)</b>	<b>(104)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(314)</b>

出所：会社データ、弊社計算

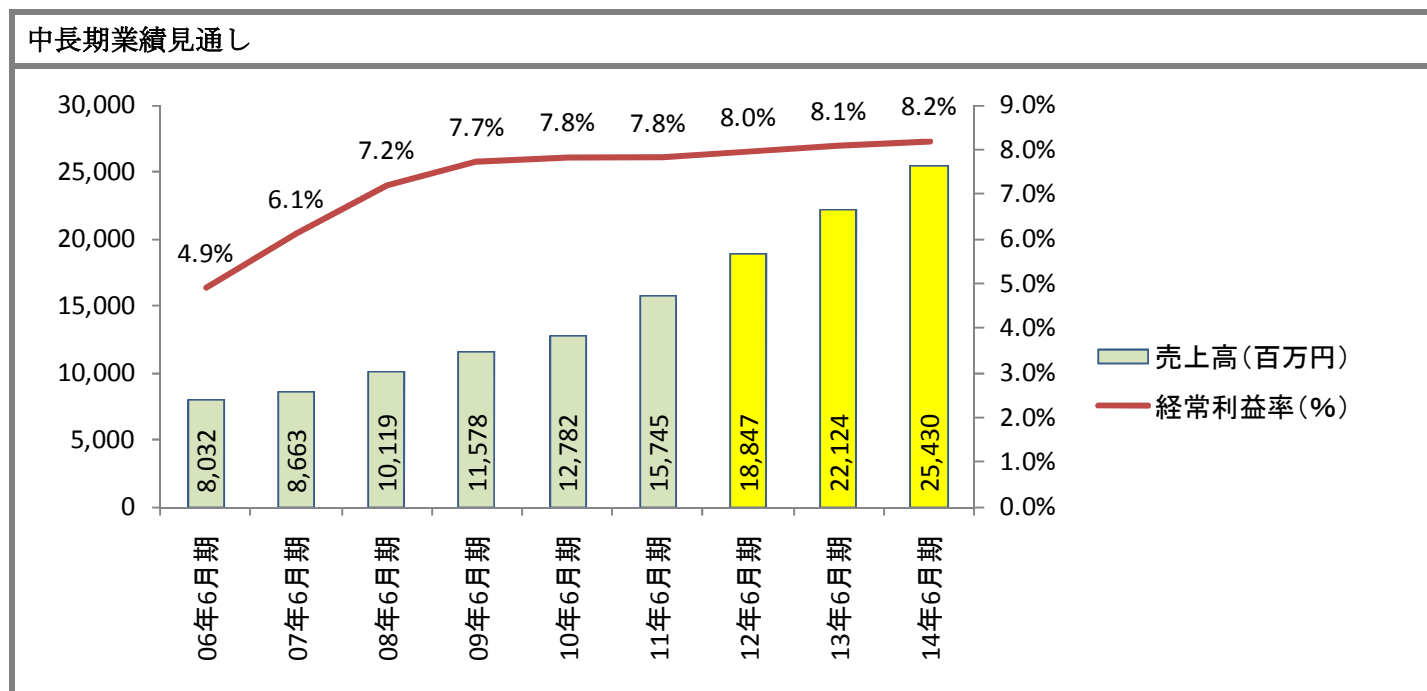
## 貸借対照表（四半期）

貸借対照表 (百万円)	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	単体実績	前年比 純増減
	1Q 11年6月期	2Q 11年6月期	3Q 11年6月期	4Q 11年6月期	1Q 12年6月期	2Q 12年6月期	3Q 12年6月期	4Q 12年6月期	
現金及び預金	1,956	2,116	1,825	2,885	2,578	2,631	-	-	+514
売掛金	195	240	223	206	222	320	-	-	+80
たな卸資産	117	134	108	120	130	140	-	-	+6
その他	268	282	278	387	312	332	-	-	+50
<b>流動資産</b>	<b>2,536</b>	<b>2,773</b>	<b>2,434</b>	<b>3,598</b>	<b>3,243</b>	<b>3,424</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+650</b>
有形固定資産	3,949	4,050	4,073	4,477	4,687	4,677	-	-	+627
無形固定資産	69	66	81	72	75	71	-	-	+5
投資その他の資産合計	1,760	1,747	1,780	1,723	1,754	1,799	-	-	+52
<b>固定資産</b>	<b>5,778</b>	<b>5,863</b>	<b>5,934</b>	<b>6,272</b>	<b>6,516</b>	<b>6,546</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+683</b>
<b>資産合計</b>	<b>8,313</b>	<b>8,636</b>	<b>8,368</b>	<b>9,870</b>	<b>9,759</b>	<b>9,970</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+1,334</b>
買掛金	424	558	517	435	504	647	-	-	+90
短期借入金	1,186	1,116	1,022	990	268	173	-	-	(943)
その他	1,055	1,329	1,180	1,622	2,009	2,058	-	-	+729
<b>流動負債</b>	<b>2,666</b>	<b>3,003</b>	<b>2,719</b>	<b>3,047</b>	<b>2,782</b>	<b>2,879</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(124)</b>
長期借入金	2,031	1,775	1,639	1,864	1,769	1,618	-	-	(156)
その他	851	870	873	922	945	1,006	-	-	+136
<b>固定負債</b>	<b>2,881</b>	<b>2,645</b>	<b>2,512</b>	<b>2,786</b>	<b>2,714</b>	<b>2,625</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(20)</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,547</b>	<b>5,648</b>	<b>5,231</b>	<b>5,833</b>	<b>5,496</b>	<b>5,504</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>(144)</b>
<b>株主資本</b>	<b>2,767</b>	<b>2,986</b>	<b>3,133</b>	<b>4,031</b>	<b>4,255</b>	<b>4,456</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+1,470</b>
その他合計	(0)	2	4	6	8	10	-	-	+8
<b>純資産</b>	<b>2,766</b>	<b>2,988</b>	<b>3,138</b>	<b>4,037</b>	<b>4,263</b>	<b>4,466</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+1,478</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,313</b>	<b>8,636</b>	<b>8,368</b>	<b>9,870</b>	<b>9,759</b>	<b>9,970</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>+1,334</b>
有利子負債	3,217	2,891	2,661	2,853	2,037	1,792	-	-	(1,100)
ネットデット	1,261	775	836	(32)	(541)	(839)	-	-	(1,614)
当座比率	81%	78%	75%	101%	101%	102%	-	-	-
流動比率	95%	92%	90%	118%	117%	119%	-	-	-
自己資本比率	33.3%	34.6%	37.4%	40.8%	43.6%	44.7%	-	-	-
ネットデットエクイティ比率	45.6%	26.0%	26.7%	(0.8%)	(12.7%)	(18.8%)	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

## 中長期業績見通し

2011年8月25日に開催された同社の決算説明会において開示された中期3ヵ年経営目標(2012年6月期～2014年6月期)においては、2014年3月期に対して売上高254億円、経常利益21億円、経常利益率8.2%、総店舗数369店を達成することが数値目標として挙げられている。2011年6月期実績では、売上高157億円、経常利益11億円、経常利益率7.8%、総店舗数213店である。すなわちここでは、今後3年間で、総店舗数を73%引き上げ、売上高を62%拡大させ、経常利益を69%拡大することが計画されている。換言すれば、今後3年間に於いて、毎年、経常利益を前年比20%前後のペースで引き上げることが計画されていることになる。



出所：会社データ、弊社計算

2006年6月期から2009年6月期に至る経緯において、同社は継続的に経常利益率を引き上げた。継続的な売上高拡大による増収効果が売上総利益率を漸増させた一方、同じく増収効果により売上高販管費比率が漸減した結果である。ただし、ここにきて同社は、更なる大きな利益率の向上を目指すよりも、むしろ売上高の拡大を通じた利益の絶対額の最大化を重要視する経営戦略を採っている。現状の利益率を少なくとも維持・漸増できる範囲内で、集客力の高い地域にできるだけ多くの新規出店を行い、売上高を最大化させるのが同社の経営戦略である。

ここでの売上高の拡大に対して最大の期待がもたれているのは、主力事業である焼肉部門である。同部門の中核を形成する「焼肉きんぐ」業態では、「お席で注文 食べ放題」が標榜されているため、ここでの利益率は相対的に低く成らざるを得ないものの、確実に相当の売上高を計上できるとされている。これを中核とした焼肉部門での新店舗展開を積極的に進めていくのが今後に向けての最大の成長ドライバーになる見込である。

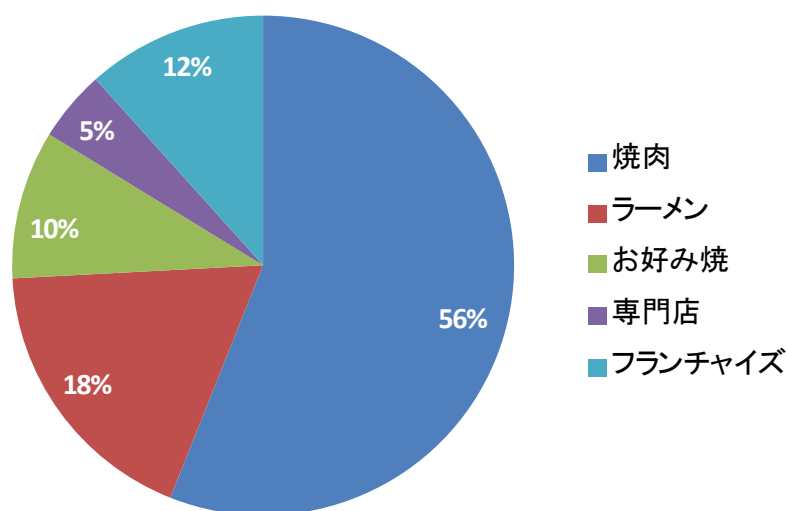
また、更なる新業態の開発も進捗しており、2012年6月にはその第1号店が出店される見通しである。加えて、2011年11月8日付で、同社の香港現地法人が中国でのレストラン経営を目的とした新会社(資本金約224百万円、同現地法人100%出資)を上海で設立している。追加的には、これらが中長期的な同社の業績推移に貢献することが期待できる。費用面では、2011年9月に本格稼働を開始した自社の製麺工場がラーメン部門での調達費用を次第に引き下げていく見通しである。

## 4.0 ビジネスモデル

### フードビジネス開発型企业

同社は、フードビジネス開発型企业である。焼肉部門（2012年6月期第2四半期売上高構成比56%）、ラーメン部門（18%）、お好み焼部門（10%）、専門店部門（5%）における同社の事業は、本拠地である愛知県（豊橋市）を中心として、全国で各部門のロードサイド店舗を直営すると同時に新業態を開発し、それを消費者に提供することである。これに加えて、同社はF C店舗展開にも関与しており、これに係るロイヤルティ等が残る12%の売上高を占めている（フランチャイズ部門）。

事業部門別売上高構成比（2012年6月期第2四半期実績）



出所：会社データ、弊社計算

同社の事業の中核を形成しているのは、「焼肉きんぐ」、「一番かるび」、「一番カルビ」のブランドで展開されている焼肉部門である。「焼肉きんぐ」では、「お席で注文 食べ放題」という新業態が開発・導入されており、この導入効果が最大化した2010年10月には、焼肉部門の既存店売上高が前年比28.1%増という驚異的な伸びを示すに至っている。同社の強みは、このようなフードビジネスの新業態を開発し、実際に消費者の需要を取り込んで売上高を拡大させることができることである。類似性の高い焼肉のテーブルバイキングを同社に先行して展開してこの領域において同社以上の店舗展開をしていた同業他社もあったが、現在までに同社は、同領域に特化した業態としては店舗数で日本最大に至っているとのことである。

### 新店舗展開

同社の2011年6月期末時点での運営店舗数は、総計213店だったが、同社では、これを2014年6月末に向けて、総計369店にまで引き上げることを計画している。2011年6月期末の213店舗は、直営115店舗、F C 116店舗から構成されている。直営115店舗の中核となるのは焼肉部門の直営店舗であり、焼肉部門の直営店は53店舗に及んでいる。一方、F C 116店舗の中核となるのはラーメン部門の65店舗である。

## 新店舗展開計画

期末店舗数	(直営店) + (FC)			(直営店)				(FC)			
	店舗数	(直営)	(FC)	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店
FY06/2010	183	83	100	44	18	18	3	22	48	30	0
1Q FY06/2011	189	87	102	45	22	17	3	23	50	29	0
2Q FY06/2011	195	90	105	46	24	17	3	24	54	27	0
3Q FY06/2011	198	91	107	47	24	17	3	24	56	27	0
FY06/2011	213	97	116	53	24	17	3	24	65	27	0
1Q FY06/2012	216	96	120	54	24	15	3	28	66	26	0
2Q FY06/2012	230	99	131	56	25	15	3	32	72	27	0
3Q FY06/2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FY06/2012会予	256	115	141	63	30	18	4	36	80	25	0
FY06/2013会予	299	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FY06/2014会予	369	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新規出店	(直営店) + (FC)			(直営店)				(FC)			
	店舗数	(直営)	(FC)	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店
1Q FY06/2012	+10	+3	+7	+2	+1	-	-	+4	+3	-	-
2Q FY06/2012	+24	+6	+18	+4	+2	-	-	+8	+9	+1	-
3Q FY06/2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FY06/2012会予	+48	+20	+28	+11	+6	+2	+1	+12	+16	-	-
退店	(直営店) + (FC)			(直営店)				(FC)			
	店舗数	(直営)	(FC)	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店	焼肉	ラーメン	お好み焼	専門店
1Q FY06/2012	(7)	(4)	(3)	(1)	(1)	(1)	-	-	(2)	(1)	-
2Q FY06/2012	(7)	(4)	(3)	(1)	(1)	(1)	-	-	(2)	(1)	-
3Q FY06/2012	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FY06/2012会予	(5)	(2)	(3)	(1)	-	(1)	-	-	(1)	(2)	-

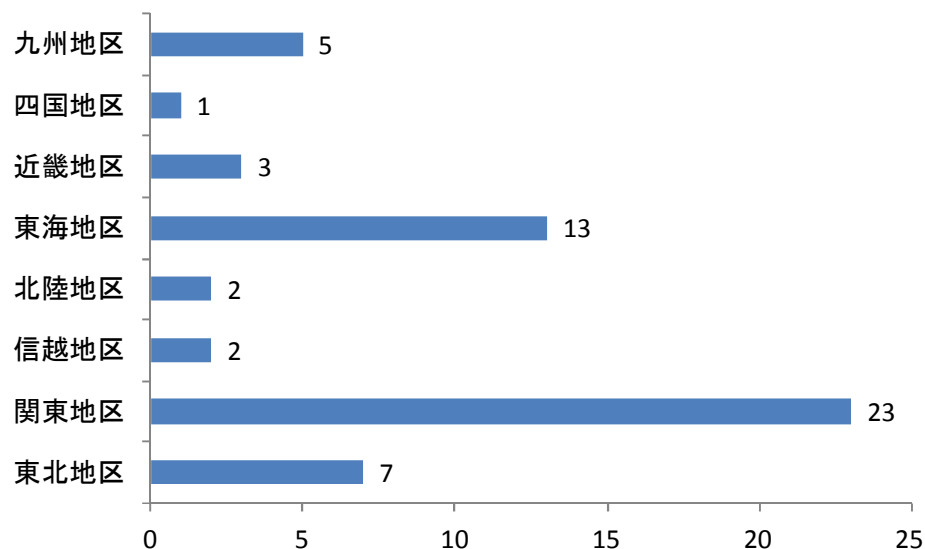
出所：会社データ、弊社計算

2012年6月期末に向けては、運営店舗数は総計256店舗になる見通しだが、ここでは12ヶ月で新規出店48店舗、退店5店舗が想定されている。基本的には、2011年6月期末時点での状況と同様に、直営店では焼肉部門が、FCではラーメン部門が新規出店の中核となる見通しである。2013年6月期、2014年6月期に向けては、内訳に関する開示はされていないものの、各期の期末時点での総店舗数は、それぞれ、299店舗、369店舗である。また、店舗数の時系列的な純増数の推移としては、2012年6月期、2013年6月期、2014年6月期に対して、それぞれ、43店舗、43店舗、70店舗が想定されている。2012年6月期第2四半期累計実績では、新規出店24店、退店7店となり、純増店舗数は17店である。

### 既存店舗の地区別内訳

同社の中核事業である焼肉部門の地区別店舗展開においては、総店舗数 56 店（2012 年 6 月期第 2 四半期末実績）のうち関東地区で 23 店舗、東海地区で 13 店舗の運営がなされており、両地区に対するエクスポージャーが大きい。同社の新規出店戦略の要諦は、集客力の大きい地域に出店して当該各地域での一番店を目指すというものである。その結果が、首都圏を擁する関東地区に対するエクスポージャーが大きい要因であると考えられる。また、東海地区に対するエクスポージャーが大きい理由は、本拠地である愛知県（豊橋市）が当該地区に含まれているからである。

焼肉部門の地域別店舗数（総計 56 店舗、2012 年 6 月期第 2 四半期末）

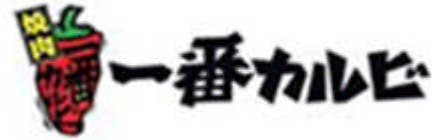


出所：会社データ、弊社計算

同社の推定によれば、国内焼肉市場は年間ベースで 5,600 億円前後にも及ぶとのことである。また、この焼肉市場の特徴のひとつは、たとえば牛丼市場（国内市場規模：3,200 億円）のような寡占化が進捗していないところである。同社は、焼肉市場における大手企業のひとつとして位置付けられようが、2011 年 6 月期実績における焼肉部門の売上高は 85 億円に過ぎない。F C 店舗展開による売上高を加えても、同社のシェアは 3%前後ではないかと推定される。国内焼肉市場の将来に向けての成長性に関しては、余り大きな期待が持てないだけに、同社の課題としては、いかに効率良く未開拓地域を開拓していくかが挙げられるであろう。この立脚点においては、現状のエクスポージャーが小さい地区での新店舗展開に注力する方向性も考えられるが、同社においては、先述の通り、集客力の高い地域での新規出店に注力するのが経営戦略として実行されている。

各事業部門のブランド（2012年6月期第2四半期末時点）

焼肉部門（3業態、88店舗）



- 「焼肉きんぐ」：66店舗（直営48、FC18）「テーブルバイキングスタイル」が特徴
- 「一番かるび」：16店舗（直営7、FC9）和風の落ち着いた雰囲気 연출
- 「一番カルビ」：6店舗（直営1、FC5）ポップなデザインが特徴

ラーメン部門（2業態、89店舗）



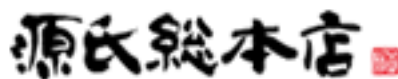
- 「丸源ラーメン」：88店舗（直営19、FC69）看板商品「肉そば」にこだわり
- 「二代目丸源」：9店舗（直営6、FC3）看板商品「きゃべとん」にこだわり

お好み焼部門（1業態、42店舗）



- 「お好み焼本舗」：42店舗（直営15、FC27）ステーキ・海鮮・お好み焼の鉄板焼専門店

専門店部門（2業態、3店舗）



- 「げん屋」：1店舗（直営1）旬の食材と新鮮な魚介がこだわりの高級居酒屋店
- 「源氏総本店」：2店舗（直営2）しゃぶしゃぶと海鮮料理の組み合わせがこだわりの大型和食店

出所：会社データ



## 5.0 財務諸表

### 損益計算書

損益計算書 (百万円)	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
<b>売上高</b>	<b>8,663</b>	<b>10,119</b>	<b>11,578</b>	<b>12,782</b>	<b>15,745</b>	<b>18,847</b>	<b>+3,102</b>
売上原価	2,603	3,018	3,430	3,684	4,790	5,760	+970
売上総利益	6,060	7,101	8,148	9,098	10,955	13,087	+2,132
販売費及び一般管理費	5,487	6,327	7,315	8,115	9,760	11,609	+1,849
<b>営業利益</b>	<b>573</b>	<b>775</b>	<b>832</b>	<b>983</b>	<b>1,195</b>	<b>1,478</b>	<b>+283</b>
営業外損益	(44)	(45)	63	19	36	22	(14)
<b>経常利益</b>	<b>529</b>	<b>730</b>	<b>895</b>	<b>1,002</b>	<b>1,231</b>	<b>1,500</b>	<b>+269</b>
特別損益	(244)	(45)	(38)	(47)	(151)	(60)	+91
税金等調整前当期純利益	285	685	858	955	1,080	1,440	+360
法人税等合計	176	265	404	448	550	677	+127
<b>当期純利益</b>	<b>109</b>	<b>420</b>	<b>454</b>	<b>507</b>	<b>530</b>	<b>763</b>	<b>+233</b>
売上高伸び率	+7.9%	+16.8%	+14.4%	+10.4%	+23.2%	+19.7%	-
営業利益伸び率	+33.9%	+35.1%	+7.5%	+18.1%	+21.6%	+23.7%	-
経常利益伸び率	+34.3%	+38.0%	+22.7%	+11.9%	+22.8%	+21.9%	-
当期純利益伸び率	-	+285.5%	+8.0%	+11.7%	+4.6%	+43.9%	-
売上総利益率	70.0%	70.2%	70.4%	71.2%	69.6%	69.4%	-
売上高販管費率	63.3%	62.5%	63.2%	63.5%	62.0%	61.6%	-
営業利益率	6.6%	7.7%	7.2%	7.7%	7.6%	7.8%	-
経常利益率	6.1%	7.2%	7.7%	7.8%	7.8%	8.0%	-
当期純利益率	1.3%	4.2%	3.9%	4.0%	3.4%	4.0%	-
法人税等 / 税前利益	61.7%	38.6%	47.1%	46.9%	50.9%	47.0%	-

出所：会社データ、弊社計算

### 事業部門別売上高

事業部門別売上高 (百万円)	単体実績 通期 06年6月期	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
焼肉	5,046	4,948	5,324	5,947	6,737	8,481	10,625	+2,144
ラーメン	1,434	1,478	1,723	2,112	2,374	3,086	3,600	+514
お好み焼	-	-	1,395	1,653	1,610	1,879	1,889	+10
専門店	821	1,356	648	631	637	682	719	+37
フランチャイズ	730	879	1,030	1,235	1,424	1,617	2,012	+395
<b>売上高</b>	<b>8,032</b>	<b>8,663</b>	<b>10,119</b>	<b>11,578</b>	<b>12,781</b>	<b>15,745</b>	<b>18,847</b>	<b>+3,102</b>
焼肉	63%	57%	53%	51%	53%	54%	56%	-
ラーメン	18%	17%	17%	18%	19%	20%	19%	-
お好み焼	-	-	14%	14%	13%	12%	10%	-
専門店	10%	16%	6%	5%	5%	4%	4%	-
フランチャイズ	9%	10%	10%	11%	11%	10%	11%	-
<b>売上高</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>-</b>
焼肉	-	(1.9%)	+7.6%	+11.7%	+13.3%	+25.9%	+25.3%	69%
ラーメン	-	+3.1%	+16.6%	+22.6%	+12.4%	+30.0%	+16.7%	17%
お好み焼	-	-	-	+18.5%	(2.6%)	+16.7%	+0.5%	0%
専門店	-	+65.2%	(52.2%)	(2.7%)	+0.9%	+7.1%	+5.5%	1%
フランチャイズ	-	+20.4%	+17.1%	+19.9%	+15.3%	+13.6%	+24.4%	13%
<b>売上高</b>	<b>-</b>	<b>+7.9%</b>	<b>+16.8%</b>	<b>+14.4%</b>	<b>+10.4%</b>	<b>+23.2%</b>	<b>+19.7%</b>	<b>100%</b>

出所：会社データ、弊社計算

一株当たりデータ

一株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
期末発行済株式数(株)	273,800	1,220,100	1,230,600	1,403,500	4,935,182	-	-
当期純利益 / EPS (株)	258,337	1,061,266	1,221,294	1,235,201	4,267,056	4,938,192	-
期末自己株式数(株)	-	-	-	151	714	-	-
一株当たり当期純利益 (潜在株式調整後)	422.1	396.1	371.6	410.3	124.2	154.5	-
一株当たり純資産	1,939.7	1,012.8	1,321.4	1,897.2	816.8	-	-
一株当たり配当金	50.0	40.0	45.0	50.0	21.0	22.0	-
配当性向	11.8%	10.1%	12.1%	12.2%	16.9%	14.2%	-

一株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
株式分割ファクター	3.00	3.00	3.00	3.00	1.00	-	-
一株当たり当期純利益	140.7	132.0	123.9	136.8	124.2	154.5	-
一株当たり純資産	646.6	337.6	440.5	632.4	816.8	-	-
一株当たり配当金	16.7	13.3	15.0	16.7	21.0	22.0	-

出所：会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書 (百万円)	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
営業活動によるキャッシュフロー	692	943	1,254	914	1,713	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(643)	(659)	(772)	(1,014)	(1,036)	-	-
<b>営業活動＋投資活動によるCF</b>	<b>49</b>	<b>284</b>	<b>481</b>	<b>(99)</b>	<b>677</b>	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	241	(147)	(236)	480	338	-	-
税引等調整前当期純利益	285	685	858	955	1,080	-	-
減価償却費	261	348	430	502	570	-	-
運転資本増減	(3)	(11)	(16)	32	38	-	-
法人税等の支払額	(204)	(200)	(417)	(600)	(407)	-	-
有形固定資産の取得	(609)	(737)	(722)	(977)	(927)	-	-
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>(270)</b>	<b>86</b>	<b>133</b>	<b>(88)</b>	<b>356</b>	-	-
(直営店新規出店)	-	-	-	-	-	1,600	-
(その他)	-	-	-	-	-	200	-
設備投資	730	827	874	1,096	1,119	1,800	-
減価償却費	261	348	430	502	570	638	-
営業利益	573	775	832	983	1,195	1,478	-
EBITDA(営業利益＋減価償却費)	834	1,122	1,262	1,484	1,765	2,116	-
直営店新規出店数(店舗数)	9	9	10	13	15	20	-
一店舗当たり設備投資	-	-	-	-	-	80	-

出所：会社データ、弊社計算



貸借対照表

貸借対照表 (百万円)	単体実績 通期 07年6月期	単体実績 通期 08年6月期	単体実績 通期 09年6月期	単体実績 通期 10年6月期	単体実績 通期 11年6月期	単体会予 通期 12年6月期	前年比 純増減
現金及び預金	1,147	1,244	1,489	1,870	2,885	-	-
売掛金	128	145	176	197	206	-	-
たな卸資産	81	74	86	107	120	-	-
その他	157	178	220	249	387	-	-
<b>流動資産</b>	<b>1,513</b>	<b>1,640</b>	<b>1,971</b>	<b>2,424</b>	<b>3,598</b>	-	-
有形固定資産	2,769	3,060	3,436	3,840	4,477	-	-
無形固定資産	75	67	73	70	72	-	-
投資その他の資産合計	1,544	1,572	1,702	1,724	1,723	-	-
<b>固定資産</b>	<b>4,388</b>	<b>4,700</b>	<b>5,211</b>	<b>5,634</b>	<b>6,272</b>	-	-
<b>資産合計</b>	<b>5,901</b>	<b>6,340</b>	<b>7,182</b>	<b>8,057</b>	<b>9,870</b>	-	-
買掛金	275	274	301	375	435	-	-
短期借入金	1,002	1,025	1,191	1,214	990	-	-
その他	699	794	1,144	927	1,622	-	-
<b>流動負債</b>	<b>1,977</b>	<b>2,093</b>	<b>2,636</b>	<b>2,516</b>	<b>3,047</b>	-	-
長期借入金	2,941	2,502	2,173	2,119	1,864	-	-
その他	452	509	747	760	922	-	-
<b>固定負債</b>	<b>3,392</b>	<b>3,011</b>	<b>2,920</b>	<b>2,878</b>	<b>2,786</b>	-	-
<b>負債合計</b>	<b>5,369</b>	<b>5,104</b>	<b>5,556</b>	<b>5,395</b>	<b>5,833</b>	-	-
<b>株主資本</b>	<b>527</b>	<b>1,234</b>	<b>1,626</b>	<b>2,663</b>	<b>4,031</b>	-	-
その他合計	5	2	1	(0)	6	-	-
<b>純資産</b>	<b>532</b>	<b>1,236</b>	<b>1,626</b>	<b>2,663</b>	<b>4,037</b>	-	-
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,901</b>	<b>6,340</b>	<b>7,182</b>	<b>8,057</b>	<b>9,870</b>	-	-
有利子負債	3,943	3,528	3,365	3,333	2,853	-	-
ネットデット	2,796	2,284	1,876	1,463	(32)	-	-
ROA(当期純利益 / 総資産)	2.1%	7.1%	7.2%	7.1%	6.6%	7.7%	-
ROE(当期純利益 / 株主資本)	36.5%	79.7%	36.8%	31.2%	19.9%	18.9%	-
当座比率	64%	66%	63%	82%	101%	-	-
流動比率	77%	78%	75%	96%	118%	-	-
自己資本比率	8.9%	19.5%	22.6%	33.0%	40.8%	-	-
ネットデットエクイティ比率	530.4%	185.1%	115.4%	54.9%	(0.8%)	-	-

出所：会社データ、弊社計算

## 6.0 その他の情報

### 1969年設立

同社の前身である株式会社げんじが設立されたのは、1969年9月である。株式会社げんじは、1995年12月に、焼肉第1号店を地元である愛知県豊橋市で開業し、1997年11月には、社名を株式会社物語コーポレーションに変更している。また、2001年6月にはラーメン店の運営を開始している。継続的にその業容を拡大してきた同社は、2008年3月、往時のジャスダック証券取引所に上場し、2010年6月には東京証券取引所市場2部に指定替えとなり、2011年6月には同市場1部に指定替えとなった。従来からのデットファイナンスに加えて、エクイティファイナンスによる資金調達も利用してきた同社の自己資本は、時系列的にその厚みを増し、現状においては、同社の中期計画を実現させるための資金が蓄えられるに至っている。

同社の実質的な創業者は、代表取締役会長小林佳雄氏（1949年生まれ）である。小林氏は、同社の発行済株式の15.0%を保有する筆頭株主でもある。1977年4月、小林氏は同氏の母親が創業した株式会社げんじ（現在の同社）に入社し、1980年4月以来、代表取締役社長として同社の事業拡大を指揮してきた。そして、2011年9月22日付けで小林氏は代表取締役会長に就任している。資本と経営の分離を図る小林氏は、自己保有株式を徐々に株式市場に放出している一方、同氏の保有株式を継承する予定のない人材から次世代のトップマネジメントを育成する方針を打ち出していた。その結果、小林氏に代わって代表取締役社長に就任したのが2011年4月に同社に入社した加治幸夫氏（1956年生まれ）である。同氏は23年間に及ぶ給食の大手企業における営業部門、開発部門での勤務経験等を活かして同社の経営を引き継ぐこととなった。

## 沿革

年月	事項
1949年12月	愛知県豊橋市広小路におでん屋「酒房源氏」を創業
1969年9月	株式会社げんじを資本金500万円で設立
1995年12月	焼肉第1号店「焼肉一番カルビ曙店」を愛知県豊橋市にオープン
1997年6月	社名を株式会社げんじから株式会社物語コーポレーションに変更
1997年11月	本社を愛知県豊橋市向山町から愛知県豊橋市西岩田に移転・拡張
1998年12月	焼肉部門におけるフランチャイズ1号店「焼肉一番カルビ羽根店」を愛知県岡崎市にオープン
1999年8月	新業態の中華料理店「釜あげチャーシュー上海豚麺」を愛知県豊橋市にオープン
2001年6月	大型ラーメン専門店1号店「丸源ラーメン三河安城店」を愛知県安城市にオープン
2002年5月	中華部門におけるフランチャイズ1号店「丸源ラーメン桶狭間店」を名古屋市緑区にオープン
2002年10月	「焼肉一番カルビつきみ野店」を焼肉部門の新業態「焼肉一番かるびつきみ野店」としてリニューアルオープン
2003年11月	「釜あげチャーシュー上海豚麺」を新業態「香港キッチン炒蓮花」としてリニューアルオープン
2004年12月	新業態「百老担担麺」を神奈川県相模原市にオープン
2005年11月	「丸源ラーメン一宮店」を新業態「二代目丸源一宮店」としてリニューアルオープン
2005年12月	「百老担担麺」を専門店部門の新業態「大阪梅田お好み焼本舗相模原店」としてリニューアルオープン
2006年3月	「焼肉一番カルビみやぎ台店」を焼肉部門の新業態「焼肉キングみやぎ台店」としてリニューアルオープン
2006年7月	お好み焼のフランチャイズ1号店「大阪梅田お好み焼本舗新潟近江店」を新潟市中央区にオープン
2007年3月	「焼肉キング御経塚店」を焼肉部門の新業態「焼肉きんぐ御経塚店」としてリニューアルオープン
2008年3月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2010年6月	東京証券取引所第二部に株式を上場
2011年6月	東京証券取引所第一部に株式を上場

### Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR情報」とは、すなわち当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容等である。

商号：株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-4-1110 クイーンズパレス東京中央

URL: [www.walden.co.jp](http://www.walden.co.jp)

E-mail: [info@walden.co.jp](mailto:info@walden.co.jp)

電話番号：03 (3553) 3769